

# 親子聖書日課

[日]「なぜ私だけがこんな苦しみに遭わなければならないのか」と嘆く人はいませんか。しかし、十字架で苦しめられた主は、逃れる道を用意しています。それが、復活です。真実な神に全てを委ねる時、必ず、今の苦しみから脱出できるのです。

[月]キリスト者は聖書が禁じる罪以外、何をしてもよいのですが、健康を害することや人に躓きを与えることはしてはいけません。主が与えて下さる自由とは、自分と人とを生かし、神の栄光の為に生きることです。その自由を正しく用いましょう。

[火]主にあっては男女の差別はないので、ベールをつける必要はないと考える婦人がいました。パウロは、主、男、女という順序を示し、教会の秩序を守ることを教えました。私達の教会にはこんな習慣はありません。「自分で判断」してよいです。

[水]コリント教会は、分裂、酒乱、不品行などがあり、これが主の教会かと疑いたくなるほどでした。しかし、一つだけ救いがありました。それは主の晩餐式が行われていたのです。この式の度に、主の死を覚え、悔い改めに導かれたことでしょう。

[木]「イエスは主である」と告白できるのは、本人の理解力でも努力でもありません。ただ聖霊の働きによるのですから、聖霊が臨むように祈りましょう。私達の側ですべきことは、自分に与えられた賜物を用いて、主を大胆に証することです。

[金]奉仕は冰山に似ています。人の目に触れるのは1割、あとの9割は海中にあるように目立ちません。しかし、それが教会を支えます。縁の下の力持ちになりましょう。人と比較せずに主から与えられた賜物を用いるなら、教会は成長します。

[土]何をすることも愛がなければ無に等しいのです。この愛は、自分の努力で得られるものではありません。主の十字架によって明らかにされた神の愛です。主を信じ、その愛に身を委ねた時、主の愛が私達に働いて、自分も人も愛せるのです。



NO.1509 2017.8/27-9/2

名前

	聖書	問題	答え
日	Iコリント 10:1-22	神は試練と共に、それに耐えられるよう、何を備えて下さいますか。	
月	10:23- 11:1	何をすることにしても、すべて何を現すためにすべきですか。	
火	11:2-16	すべてのものが誰から出ましたか。	
水	11:17-34	私達は自分をどうしていれば、裁かれませんか。	
木	12:1-11	何によらなければ、誰も「イエスは主である」とは言えませんか。	
金	12:12-31	あなたがたはキリストの何ですか。	
土	12:31- 13:13	いつまでも残るものの中で最も大いなるものは何ですか。	
感想と祈りの課題			